



インポート設定ガイド

2022/09/29



Copyright(C) 2022 Digital Assist Corporation. All rights reserved.

目次

目次	2
はじめに.....	3
データベースおよびテーブルの作成	4
インポート定義ファイルの作成	5
インポート定義ファイルの見出し行	5
インポート定義ファイルの明細行	5
インポート定義ファイルのサンプル	7
CSV 文字コード Shift-JIS・CSV 見出し行あり	7
CSV 文字コード UTF-8・CSV 見出し行あり.....	7
CSV 文字コード Shift-JIS・CSV 見出し行なし	7
CSV 文字コード UTF-8・CSV 見出し行なし.....	7
システム環境ファイル(option.config)の設定	8
インポート定義ファイルのアップロード	9
メニュー設定へ登録	10
インポート定義ファイルの文字コード UTF-8 対応	11
補足情報.....	12

はじめに

本書では、FormPat のインポート機能の設定方法を説明します。

インポート機能を利用することで、任意に設計した SQL Server のテーブルに CSV データをアップロードすることができます。

アップロードされたデータは、FormPat のデータベース参照機能によりデータ入力時に参照・登録が可能になります。

本書は、FormPat Ver.8.0.0 以降を対象としています。

データベースおよびテーブルの作成

SQL Server に CSV データを取り込むデータベースとテーブルを作成してください。

テーブルに使用できるデータ型は「補足情報」を参照してください。

インポート定義ファイルの作成

インポート定義ファイルは、テーブルとアップロードする CSV データの紐づけを定義するファイルとして CSV データを作成します。

インポート定義ファイルのファイル名は import_sjis.csv 文字コードは Shift-JIS とします。

インポート定義ファイルに Shift-JIS に存在しない機種依存文字が必要なときは「インポート定義ファイルの文字コード UTF-8 対応」を参照してください。

インポート定義ファイルの見出し行

CSV データのタイトル行を設定します。

タイトル行の文字は任意ですが以下がデフォルト値となります。

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行 (0:無 1:有),CSV 項目=列名

CSV 項目=列名 は CSV データの項目数だけ続けます。

また、末尾の空のカンマは無視されます。

インポート定義ファイルの明細行

CSV データの 1 行に必要な項目をカンマ区切りで設定します。

また、複数の CSV データをアップロードする場合は、明細行を複数行記述します。

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行の有無,CSV 項目=列名

文字コード は CSV データの文字コードを設定します。Shift-JIS なら sjis 、UTF-8 なら utf8 と設定します。

表題 は FormPat でインポート実行時に CSV データを選択するプルダウンの表示名称を設定します。

テーブル名 は CSV データを取り込む SQL Server のテーブル名を設定します。

見出し行の有無 は CSV データの先頭行が見出し行でないときは 0 、見出し行なら 1 を設定します。

CSV 項目=列名 は CSV データの先頭行が見出し行のときは、見出し行の項目名称と SQL Server のテーブルの列名を=でつなげて設定します。*CSV 項目=列名* は CSV データの項目数だけ続けます。

尚、列名にキーワードまたは特殊文字が含まれる場合、列名を角括弧[]で囲む必要があります。

CSV データの先頭行が見出し行でないときは、カンマ区切りの項目位置（先頭が 1、次が 2...）と SQL Server のテーブルの列名を=でつなげて設定します。*CSV 項目=列名* は CSV データの項目数だけ続けます。

また、末尾の空のカンマは無視されます。

インポート定義ファイルのサンプル

CSV 文字コード Shift-JIS ・ CSV 見出し行あり

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行(0:無 1:有),CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名<改行>

sjis,商品マスタ, product,1,コード=product_code,名前=product_name

CSV 文字コード UTF-8 ・ CSV 見出し行あり

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行(0:無 1:有),CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名<改行>

utf8,商品マスタ, product,1,コード=product_code,名前=product_name

CSV 文字コード Shift-JIS ・ CSV 見出し行なし

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行(0:無 1:有),CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名<改行>

sjis,商品マスタ, product,0,1=product_code,2=product_name

CSV 文字コード UTF-8 ・ CSV 見出し行なし

文字コード,表題,テーブル名,CSV 見出し行(0:無 1:有),CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名,CSV 見出し=列名<改行>

utf8,商品マスタ, product,0,1=product_code,2=product_name

システム環境ファイル(option.config)の設定

1. [メモ帳]等のテキストエディタで「FormPat プログラムフォルダ」の option.config を開きます。デフォルトは C:¥FormPat¥option.config です。

2. インポートオプションで CSV データを取り込むデータベースを設定します。

<import>タグを修正してください。

```
<import>Provider=sqloledb;Data Source=127.0.0.1;User
```

```
Id=sa;Password=password;Initial Catalog=FormPat</import>
```

127.0.0.1 はデータベースのホスト名または IP アドレスを設定します。FormPat と同じサーバーなら変更不要です。

SQL Server が名前付きインスタンスの場合、ホスト名または IP アドレスに続けて ¥ とインスタンス名を設定します。(例)server=127.0.0.1¥インスタンス名

sa はログインユーザー名です。

password はログインユーザー名のパスワードです。

FormPat は CSV データを取り込むデータベース名です。

Azure 環境では「SQL データベース」の「サーバー名」,「サーバー管理者ログイン」,「パスワード」,「データベース名」を 127.0.0.1 , sa , password , FormPat に設定します。

3. option.config を保存します。

インポート定義ファイルのアップロード

1. FormPat へ管理者ユーザーでログインします。
2. 「システム設定」画面の[フォーム設定]をクリックします。
3. 「フォーム設定」画面の[追加へ]をクリックします。
4. [フォームファイル送信]ボタンをクリックして `import_sjis.csv` をアップロードします。
アップロード後は[戻る]をクリックします。

メニュー設定へ登録

1. 引き続き FormPat の「システム設定」画面から[メニュー設定]をクリックします。
2. CSV データのアップロードを設定するメニューの「アドオン名称」に「ホーム」画面に表示するメニューの名称、および「アドオン情報」に WebCSVImport.aspx を入力してメニュー設定を登録します。
3. 「ホーム」画面で動作確認してください。

インポート定義ファイルの文字コード UTF-8 対応

インポート定義ファイルに Shift-JIS に含まれない機種依存文字の入力が必要なときは、インポート定義ファイルの文字コードを UTF-8 で作成し、ファイル名を `import_utf8.csv` としてください。

定義内容や FormPat への登録手順は上記と同様です。ただし、「インポート定義ファイルのアップロード」では、`import_utf8.csv` をアップロードします。

インポート定義ファイルの参照順は、1. `import_sjis.csv` 2. `import_utf8.csv` となります。

補足情報

1. SQL Server のテーブルに使用できるデータ型は以下の通りです。
数値型 : bit int money numeric smallint tinyint
文字型 : char varchar text nchar nvarchar ntext
日付型 : date (2.で使用する datetime)
2. CSV データと取り込むテーブルに更新日時を登録することが可能です。
列名 timestamp、型 datetime をテーブルに含めてください。
CSV データのアップロードの日時が自動的に登録されます。
3. CSV データの項目ごとのダブルクォーテーションの有無は自動的に判断します。
4. CSV データの取り込みは既存データを上書きします。